



## カリキュラムの特徴

- クラス分けのある科目の上級クラスで高度な学びができます。
- カリキュラムには実践的演習等の科目が含まれ、企業や自治体などのITを必要とする現場と連携する実践的な内容の産学連携教育科目が受講できます。この科目の履修により早い時期に社会との接点もてます。

## Q&A

### Q. 実践的演習科目とは？

A. 企業等から出講してもらう地域や産業界の課題を知るための座学の科目、企業等現場での課題解決のためのフィールドワーク、実践的なシステム開発、就業体験の科目などです。

### Q. 早期進学 (飛び級) とは？

A. 卒業要件を満たすことなく、3年次修了時点で大学院へ進学することです。卒業研究や学位授与に必要な科目の履修がそろわなくても進学するので、学士の学位授与はありません(学部の卒業認定はされませんが、大学院でより高度な専門教育を受けた方がよいと判断されると、本学では大学院の入試なく早期に進学が決定します。通常、学部と大学院で6年かかるところ、5年で修了することができます。

### Q. 卒業研究とは？

A. 情報科学部では4年間の学習成果をまとめた文書、卒業論文を提出します。卒業研究は卒業論文にまとめる研究活動のことです。卒業論文の提出や研究成果の発表は卒業要件なので、卒業に必要なプロセスです。4年間の修得内容や卒業研究の内容に応じ「学士(情報科学)」または「学士(情報工学)」の学位が授与されます。卒業研究は実際には配属された研究室で教員の指導のもとに研究テーマを設定し、約1年かけて取り組みます。早期進学(飛び級)した場合は卒業研究は行いませんが、大学院で2年間かけて修士研究に取り組むことになります。